45 01 09 01 01 003

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月14日（金）

事務事業	深谷消防署資器材管理事業	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4518
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・深谷市救急業務に関する規則 ・深谷市救急業務取扱細則 ・救急救命士法				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	資器材管理事業とは、市民の生命、身体及び財産を守るために火災、救急、救助等の災害活動時や訓練時に使用する資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施し、多種多様な災害現場に対応できるよう活動体制を整備するものである。
目的 ※何のために	災害から市民の生命、身体及び財産を守るため。
対象 ※誰・何を対象に	隊員が災害活動時または訓練時に使用する資器材等。
手段 ※どのように	資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施する。
成果 ※何を求めるか	活動体制を整備し消防力の強化を図る。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	01	常備消防費	深谷消防署資器材管理事業	12,177,286
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・各種資器材の購入及び更新	・
・各種資器材の保守点検	・
・各種資器材の修繕	・
・災害対策に関する消耗品及び備品の整備	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画	・酸素呼吸器 ・空気ボンベ ・消防ホース	・化学防護服 ・空気ボンベ ・消防ホース	・化学防護服 ・空気ボンベ ・消防ホース	・化学防護服 ・空気ボンベ ・消防ホース	・空気ボンベ ・消防ホース	・消防ホース
事業費 予算（現額）	11,116,000	10,308,000	11,186,000	12,640,000	11,266,000	8,940,000
決算額	11,004,476	10,196,565	10,882,041	12,177,286	0	0
財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	177,650	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
他特定財源	2,279,000	2,946,570	2,704,868	2,956,000	2,440,000	1,894,000
一般財源	8,725,476	7,249,995	8,177,173	9,043,636	8,826,000	7,046,000
人件費 従事職員数（人）	1.10	0.60	0.90	1.00	1.00	1.00
人件費相当試算 ※1	8,556,900	4,669,200	10,536,500	8,136,000	8,136,000	8,136,000
	0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）	19,561,376	14,865,765	21,418,541	20,313,286	19,402,000	17,076,000

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	備品購入品目数	目標値	品目	8.00	4.00	5.00	5.00	4.00	4.00	□
			実績値		3.00	4.00	5.00	5.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		資器材維持管理計画に基づく購入品目数とする。							
		備品購入品目数									
□	活動指標２	保守点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		呼吸・循環管理用資器材等の保守点検実施率							
		保守点検品目数／実施数×１００									
■	成果指標１	資器材故障時における修繕率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		資器材の故障に対する１００%の修繕を目標とする。							
		修繕数／故障件数×１００									
■	成果指標２	災害時における資器材作動率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		災害時における資器材１００%の作動を目標とする。							
		使用数／災害数×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 備品の購入及び資器材の保守点検を目標通りに実施できている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 故障や損傷によって使用不能となった資器材について、修繕や更新等の対応を適切に実施することで、災害時に資器材が使用不能な状態を維持することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	補佐兼管理係長　伊藤義浩

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るっている状況であり、今後も第２波の到来も懸念されている。安定的に市民の安全、安心を守るためには、今ある資器材の適正管理だけではなく、更なる充実強化が必要である。
達成状況 及び その効果	コロナ禍の状況において、特に感染防止器材の購入が困難であった。しかしながら、花園消防課及び警防課と協力し代替物品の購入や国からの支援物品を活用する事により感染防止器材が枯渇することなく業務を行えた。また、他の資器材にあっては、平成３０年度に策定した資器材維持管理計画に沿って各資器材の数量管理と長期的なコスト管理を実施した。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	深谷消防署資器材管理事業	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4518

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

資器材の更新や保守点検を計画通りに実施、また、突発的な資器材の故障等に対しても、迅速に修繕等を対応したことで災害時に即応できる消防体制をとることができている。

評価者	深谷消防課長　小林晃昌

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

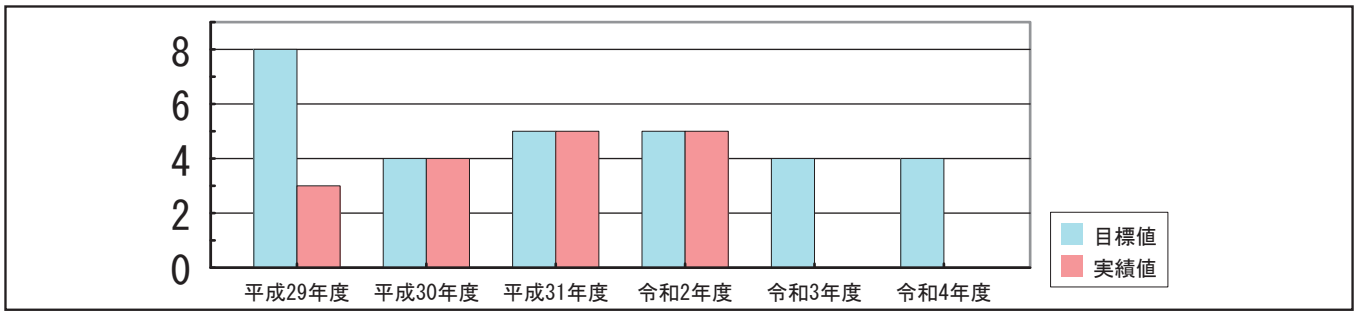
改善・改革案	引き続き、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るっている状況であり、今後もこの状態が続く事が懸念される。安定的に市民の安全、安心を守るためには今ある資器材の適正管理だけではなく、感染防止器材の充実強化が必要である。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

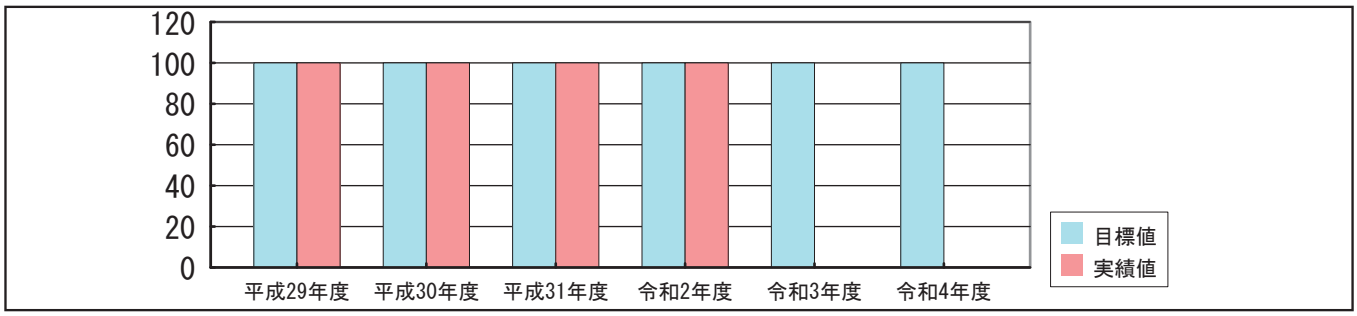
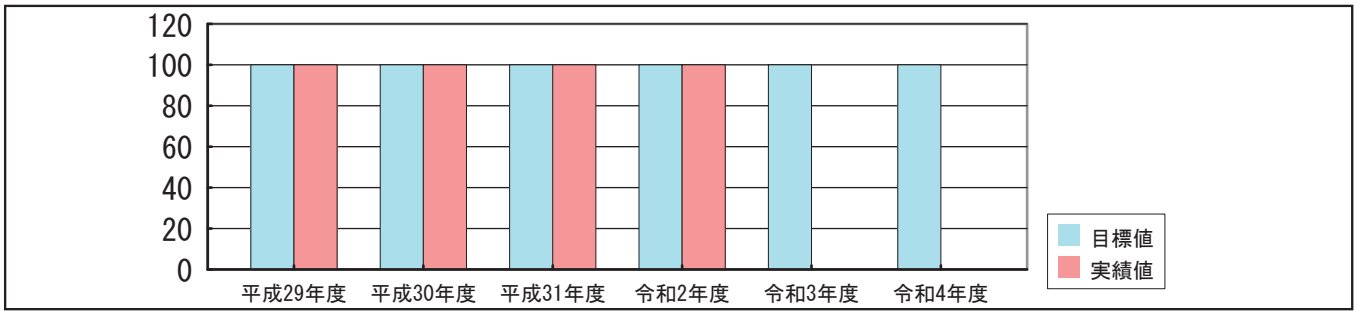
今後の課題	所有している資器材については、適切な維持管理に努めているところである。しかしながら、Ｎ９５マスクや感染防止衣等の感染防止器材の購入が難しくなっている事が課題となっている。今後は代替品等の購入を引き続き検討していくことにより感染防止器材の充実強化を図る。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	備品購入品目数



区分	成果指標１	指標名	資器材故障時における修繕率



区分	成果指標２	指標名	災害時における資器材作動率